

日教組香川 2017.2



発行所 日教組香川教職員組合
〒760-0008 高松市中野町15-24
佐藤ビル1F
TEL 087-802-1640
FAX 087-802-1642
URL <http://www.jtu-k.com/>
E-mail jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp
発行人 嶋村太伸
毎月1日発行

あなたの職場では、
ルールが守られて
いますか？
ワーク・ライフ・
バランスのとれた
職場を作るために



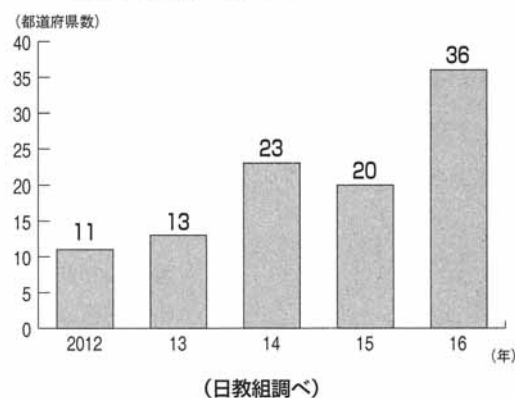
**超勤・多忙化解消に
むけて！**

あなたの職場では、ルールが守られていますか？ ～ワーク・ライフ・バランスのとれた職場を作るために～

人事委員会勧告・報告で教職員の超勤削減を指摘

16年の各都道府県人事委員会勧告・報告において、教育委員会に学校現場の超勤問題の解決を求めたのは36府県にのぼりました(図1)。15年度の20府県から急増したのは、日教組各単組のとりくみの成果です。公務員は、憲法で保障された労働者の基本的人権が制限され、その代わりに人事委員会が設けられています。人事委員会は本来、公務員の基本的な権利を守るために憲法上の要請から置かれているといっても過言ではありません。各教委は人事委員会勧告・報告に対して責任ある対応をしなければなりません。

図1 各都道府県の人事委員会報告における教職員の勤務時間削減等に係る記載



限界にきている教職員の多忙化

15年度にうつ病など精神疾患で休職した公立学校教職員は5009人に上り、07年度以降5000人前後で高止まりしています(文科省調査)。高止まりの背景には、長時間労働もあり、教職員の多忙化は限界を超えています。なたにや正義参議院議員も昨秋の臨時国会で再三にわたり政府を追及しました。

政府が重要施策としてすすめている「働き方改革」の中でも取り上げられるほど、教職員の超勤問題は今や社会全体の問題となっています。

この間、各単組・支部も、法令遵守を求めて教育委員会交渉に力を入れてきました。

超勤の根本解消には、法令遵守とともに、必要な教職員定数を確保すること、それができないのであれば、業務を大胆に削減することが必要です。教員の持ち授業時間の削減も重要な施策です。このような国の施策の見直しにむけ、日教組は全力でとりくみをすすめています。

教職という仕事と「ワーク・ライフ・バランス」

連合総研調査では、教員は労働時間、通勤に必要とされる時間、食事・入浴・睡眠の時間を除けば、自由な時間は2時間足らずで、民間の3.9時間と比較すると約1/2となっています。読書などをする時間はほとんどなく、翌日の仕事にむけて心身の疲れを回復する時間は十分にとれていません。こうした状況が病気休職者の増加や過労死につながっていることが政府の会議などでも何度も指摘されています。

このような働き方は教育実践にも悪影響を及ぼします。教職員自身にゆとりがなければ新しい教育課題に対して積極的に取り組もうという意欲もわかず、子どもの声をしっかり聴くということも疎かになり、子どもたちに感情的な対応をとってしまいかねません。バランスがとれた仕事と私生活のあり方は、教職という仕事に携わる上でも大切なライフスタイルです。

なぜ、教職員にとって「ワーク・ライフ・バランス」は難しいのか

学校での仕事を選ぶ人の多くは「子どもが好き」「学校が好き」という理由からです。しかも、子どもの喜ぶ顔に出会うと実感・達成感を強く感じ、さらに「献身的な」努力を自ら行うようになるという特徴を持っています。その特徴が、教職員の「ワーク・ライフ・バランス」を難しくさせているのです。

また、日本社会には強い「同調圧力」があります。出勤時間は厳しく管理されていますが、勤務時間通りの退勤時間が守られていないのが当面の状態です。ルール通り退勤することになぜか後ろめたさを感じたりする場合があります。また「やりがい搾取(注)」という言葉が巷で話題になっていますが、そのような状態になりやすい仕事です。

(注) やりがい搾取：「やりがい」を強く意識させ、賃金を抑制し労働させること。

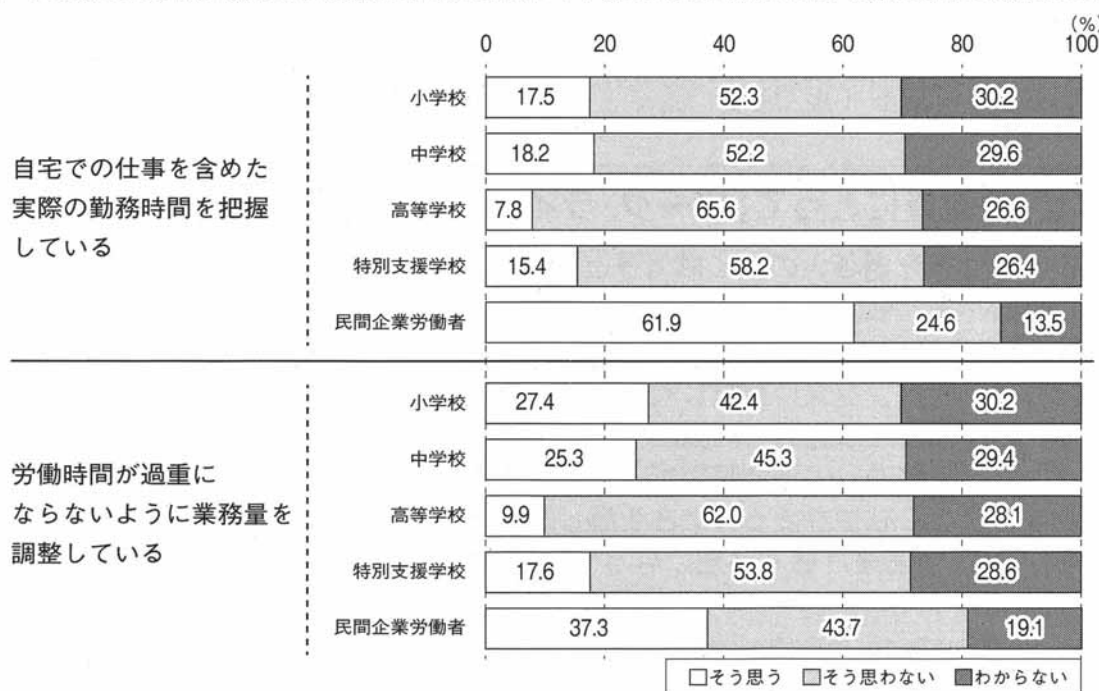
教委・管理職の姿勢は超勤削減に影響する

連合総研調査では、民間企業に比べて学校では、「管理職が自宅での仕事を含めた実際の勤務時間を把握している」と回答した割合は約1/3以下にとどまっているなどの現状が明らかとなりました。さらに、業務が集中しないように、管理職が業務量を調整しているに対し「そう思う」という回答は、民間の37.3%に対して、小学校27.4%、中学校25.3%、高校9.9%、特別支援学校17.6%とかなり低くなっています。この調査結果を詳しく分析すると校種にかかわらず、管理職が業務量の調整を行っている場合は、平均労働時間が短くなっていました。つまり、管理職の姿勢によって一定程度の超勤削減につながっていくのです。

また、調査では、約半数近い教職員が自分の所定労働時間（1日7時間45分）について知らないという深刻な実態があることもわかりました。最終報告では、教育行政当局が教職員の現職研修などを通じて所定労働時間など労働関係法令の周知をはかる責務を履行していないと指摘しています。これらは地方公務員への適用が判例でも確立している安全配慮義務(注)が、守られていない職場であるという一つの事例とも言えます。

(注) 安全配慮義務：使用者は、働く者の生命、身体などの安全を確保する義務を負っていること。

図2 管理職による業務・健康管理の実態(小学校1,903人、中学校1,700人、高校196人、特別支援91人、民間2000人)



出展：連合総研調査（民間2014、教職員2016）

冊子「あなたの職場では、ルールが守られていますか？～ワーク・ライフ・バランスのとれた職場を作るために～」がご希望の方は日教組香川まで。

映像版はYouTube（検索先 URL：<https://youtu.be/h6PCAQCKDi0>）でも見るすることができます。

2017年、日教組香川は 人権教育でスタート

日教組香川は、1月7日（日）、2つの人権教育学習会を開催し、2017年をスタートさせました。

11時から、ルポール讃岐で、三豊市教育委員会人権教育課指導員の薦田耕作さんをお迎えして、講演「人権問題を『わがこと』とするために」をしていただきました。薦田さんは、昨年3月末、三豊市立和光中学校校長として退職されましたが、日教組香川再建の呼び掛け人であり、執行委員をされるなど、日教組香川の組合員としてご活躍されていました。

14時から、サンポート高松で、大阪教育大学講師の土田光子さんをお迎えして、講演「学びでつながる学習集団づくり」をしていただきました。土田さんは、35年間、大阪府で中学校国語教諭として勤務され、「子どもたちが教室で見せる背景には、一人ひとりが抱える暮らしがある」という原則を大切に、生活まるごとでつながる集団づくりに取り組み続けてこられました。

今回新春のスタートに2つの人権教育学習会を開催しましたが、日教組香川は、今後も、同和教育を基盤としての人権教育を推進していきます。



薦田耕作さん

二つの講演から 作江康治(三・三豊中)

〈自分を語ることの大切さ〉

日教組香川新春の集いで、組合の先輩である薦田耕作先生の講演を聞きました。

その中で被差別部落との出会いや中学校における同和教育の実践などご自身の生き様を話していただきました。

薦田先生は私自身が初任校で出会い、被差別地区の生徒との関わりを通して、同和教育について学ぶきっかけとなった人です。その方から自分の被差別部落との出会いから中学校における同和教育まで系統的に聞くことは初めてでした。

その中で印象的なことは、被差別地区の人々との関わりを通して、本当の人間の見方や生き方を学んできたことです。

例えば、被差別地区の人から「祖父や父がどんな生き方をしてきたかを知っているのか」と問われた後に薦田先生自身が変わっていったことです。薦田先生は「どんな生き方をしてきたか」を聞かれた後、これまで嫌っていた祖父や父の生き方やその思いを聞きました。その結果、2人の生き方を正面から理解し、その関係が少しずつ良くなっていったそうです。

今回、薦田先生から話を聞き、自分の被差別地区や生徒たちの出会いを思い出しました。さらに、現在の生徒たちとの関わり方について、改めて自分に問い

おすることができました。時にはこんな話を聞かないと自分の教育活動における立ち位置やめざすべき方向が確認できませんね。

〈学びでつながる学級集団づくり〉

午後からは、土田先生の講演がありました。

私は以前、土田先生のお話を伺いました。その時からもう一度聞きたい、今の学級づくりに少しでも役立てたいという思いから今回、日教組で企画しました。

印象に残った言葉を挙げておきます。その言葉から集団づくりの基本や背景、考え方が見えてくると思います。

○職場の中に学びの空間を作り、学級・学年集団づくりにおいてモデルを提示し、共通認識を持つ。例えば、全員参加、子どもの背景ごと見る（子どものせいにはしない）、同和教育とは他者と共生する力を使える人づくり（他者と妥協する力をつける）など。

○学力保障は希望する進路を保障するだけでない。この学力には、思いを語る、自分の考えを整理する、要求することができる力も大切である。

○集団づくりとは「個をきたえる」場である。

○集団づくりで、うまくいかないことがその集団の力となる。困難や挫折を仕組んだり、経験させたりすることが必要。

○朝の会は、欠席している生徒に思いをはせる時間である。

○帰りの会では、「なんで?」、「そうやったんか」、「だったらどうしよう」

これらの話を聞いて、学級の子どもたちと3学期にどんな関わりをしていこうか、楽しみになりました。特に、私にとっては集団づくりとは「個をきたえる」場であるという言葉がこれからの実践のキーワードになります。学級を単なる固まりと見ない、仲良し集団とはしない言葉です。さらに、教員の子どもたちの見方、関わり方を表す言葉です。私も一人ひとりの子どもたちと丁寧につきあい、子どもたちの背景をとらえ、思いをはせることができる教員になりたいと改めて思いました。

次の機会には、さらに具体的な学級づくりの手法を学びたいです。



土田光子さん

四国ブロック 母と女性教職員の会

～「二十四の瞳」からあらためて「平和」の大切さをまなぶ～

12月23日、小豆島で四国ブロックの交流集会を持ちました。

今回は、小豆島のバスガイドとして活躍された方のご協力で、小豆島の産業や観光について学ぶことができました。中でも、有志で行われている、「二十四の瞳の紙芝居」の活動は参加者のこころに強い印象を残すものとなりました。

「島の分教場を舞台とした、十二人の子どもと担任の若い先生との物

語という印象を持っていたが、この物語は「平和」を考えさせるお話だったという認識が変わった。」という感想を語られた方がいました。

紙芝居のシナリオは、会社が用意した説明では十分でないと感じたバスガイドさんたちが、少しずつ言葉を増やしたり修正したりして作り上げたものでした。映画村にある分教場の教室で行われた紙芝居は、演じている方々の「戦争は幼馴染を・教

え子を奪うもの、平和を維持するためには平和の大切さを伝え続ける活動が必要なんだ」という意思や情熱も伝えてくれました。

「高齢者」という方々の年齢を感じさせない声やエネルギーを目の当たりにして、現役が負けてはいられないと、元気ももらった会でした。



日教組近畿・中国・四国地区女性部長会議

～たおやかに粘り強くつながろう～

12月23日、24日の2日間、小豆島で「日教組近畿・中国・四国地区女性部長会議」が開催されました。この「近・中・四女性部長会議」は、第1回の神戸市六甲を皮切りに、近畿、中国、四国の3つのブロックが持ち回りで、女性部の活性化をめざして続けられてきました。そして、今年度は2回目の香川開催となったわけです。

官制の「女性活躍」とは違い、女性自身が女性ならではの視点で、たおやかに粘り強く団結して取り組む各県の女性部の活躍ぶりから、いつも元気をもらっています。

今回の会議で特に印象に残ったのは、山口教職員組合女性部の明るさでした。女性部長の「何も知らんのですが・・・」という枕詞とはうら

はらに、たった一人の「変わっていいこう」が、みんなの「変えていいこう」になり、次から次へとアイデアがつながって、楽しく活動しているという報告には、女性部の自負が伝わってきました。一人では何もできないと、あきらめてしまうのではなく、一人から始めようと、行動することの大切さを、再認識させられました。

また、2015年度の鳥取の取り組みに兵庫が学び、すぐに実践したという報告があり、つながることと、広げることが、私たちの権利を守るためには欠かせないと痛感させられました。

そして、このように全国になかまがいて、全国で熱心に取り組みがなされているからこそ、私たちは今、

安心して働き、安心して生活ができています。

当然のように年休を取り、当然のように育休を取り、当然のように介護や看護の休暇が取れる、今、当然と思っていることのすべては、多くの人々が運動することによって勝ち取ってきた、私たちの大切な権利です。

もしも、なかまの運動がなかったら、いったいどうなっていたらと思うと、組合の存在の大きさを思わずにはられません。

日々の生活のなかで、目先の忙しさに負けて、課題に気付かないふりをして、やりすごしてしまうことが、どれほど自分の生きにくさを加速させているのかということに、気付かされる貴重な時間となりました。

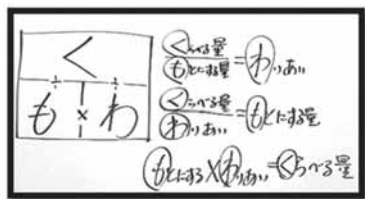
教育実践講座 I

子どもは算数のどこで^{つまず}躓くのか? ⑨

石原清貴(元小学校教員)

5年生の3学期に「割合」の単元があります。この単元割合の原理や練習問題が6時間程度、割合とグラフで4時間程度、割合を使ってという応用問題で3時間程度という時間配分になっています。しかし、こんな時間で内容を理解して使いこなせるようには決して成りません。なぜなら、割合という考え方は現実的にはかなり裾野が広くて多様な使われ方をしているし、込み入った使い方も存在するからです。割合の指導には軽く見積もっても30時間ぐらいは必要です。

それをその約半分の時間で指導して理解させ、身につくように指導しないといけないといわれるわけですから、現場は大変です。そこで仕方なく、最初から「く・も・わ」なる怪しげな解法をつかって問題文だけは解けるようにする指導方法が広まっています。この「く・も・わ」というのはもともと割合の3公式



割合＝比較量÷基準量
比較量＝基準量×割合
基準量＝比較量÷割合

が覚えられないと言うところから始まった方法です。従って、三つの公式の内容が理解できて公式の意味が分かっている場合には覚えておくとも便利かもしれません。

ところがあまりにも指導時間が少ないいうえに指導内容が多いものだから、それぞれの公式の内容が十分に理解できていないにもかかわらずこの公式図を与えて、問題を解かず指

導方針を取る先生が多いようです。内容が分からないまま公式暗記図「く・も・わ」を使うと、それは単なる小手先の解法技となり、割合の意味は分からないけれどとりあえず解けるだけということになります。ですからちょっと複雑な割合の問題（割増し、割引、倍の加法、倍の積・商）等になると皆目解けなくなります。

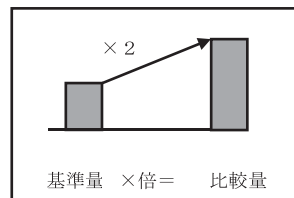
つまり、あまり早くから「く・も・わ」などという解決方法には頼らない方がいいということです。

割合のつまずきは①割合というのは二つの量を比較してその大きさ関係を倍で表していることがつかめていない事②二つの量を比較するのだけれどどちらの量を「基にするのか」どちらが「比べられる量」なのかが分からなくなる事③小さい数を大きい数で割る計算操作が納得できない事が上げられます。子どもたちの様子を見てみると②と③はセットのようです。

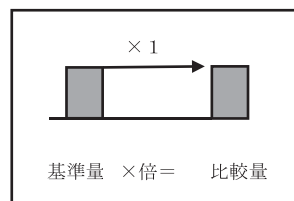
たとえば「2mは6mの何倍?」という問題があったとしましょう。子どもたちは6mの何倍かが2mだから「 $2 \div 6$ 」と立式するのですが、しばらく考えて「 $6 \div 2$ 」というふうに式を書き換えます。「どうして式をかきかえたのかな?」と聞くと、「 $2 \div 6$ って変だから!」という答えが返ってきます。3年生4年生と2年間にもわたって大きい数を小さい数でわる練習をしてきたわけですから、その反対はあり得ないのです。ここをクリアさせられないと割合は身につけません。

こういった子どもたちの躓きを解消するには「にらめっこ図」を使って「倍」の指導をしっかりとやる以外に方法はないと思います。

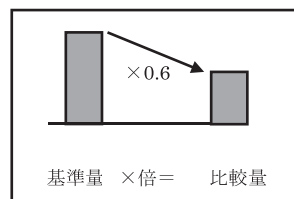
<伸びる倍>整数倍



<変わらない倍>1倍



<縮む倍>小数倍



にらめっこ図

にらめっこ図は二つの量を縦のテープ図に起こして比べやすく書き、二つの量の間の倍関係を矢線で示した図のことです。この図を使うと整数倍は増え、1倍は変わらない、小数倍は減るという働きが一目瞭然となり、「小数倍を求めるときに小さい数を大きい数で割ることもあるのだ」と言うことが理解できるようになります。幸い教科書では「関係図」を載せてあるので、関係図の上の余白にこのような図を書かせると有効かもしれません。

5年生の「割合」で躓き「算数・数学」が嫌いになったという子どもはかなり多いです。中学校や高校で倍割合は何度もやるので、そのうち出来るようになるという中高の先生もいらっしゃると思いますが、出来るなら小学校で出来るようにしておきたいですね。

Tea, Coffee and Cakes

JTU-Kafe Open

pm 6:30-8:30 Fri, Feb 17, 2017

Sato Bldg. 1F 15-24 Nakano-cho Takamatsu-city, KAGAWA

tel. 0120-27-5925 fax.087-802-1642

「JTU-Kafe」は「JTU-Kagawa (日教組香川)」と「Cafe」を組み合わせた造語です。組合事務所で執行委員が、お待ちしております。相談ごとなどありましたら、お気軽にお越しください。飲み物とお菓子を用意しています。電話やファックスでの相談もできます。なお、日教組香川組合員で無い方も歓迎です。ただし、その場合、お茶代500円をいただきます。



保険のこと相談したいけど時間がない！

教職員共済生協では「保障の見直し相談」をご希望の日時、時間にご勤務先またはご自宅に相談員がお伺いしています。

- 入っている保険の内容がよくわからない
- 昔入ってそのままになっている
- 掛金が多すぎるような気がする……など

まずはフリーダイヤル 0120-27-8140 へ(お電話でのご相談も可)



教職員共済生活協同組合東四国事業所

〒760-0004 高松市西宝町2丁目6-40 香川県教育会館6階

TEL0120-27-8140 Fax0800-200-2207

カナリア通信

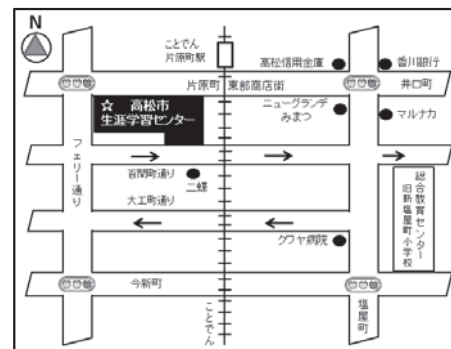
たのしくてありがとう

◆本校には、お互いに「ありがとう」や「がんばったね」「すばらしい」のメッセージを送り合うカードがあります。自分がメッセージを送りたいと思った時や行事の後などに書いています。◆わたしのクラスに、時々思い出したかのようにカードを書く子がいます。まだ、どういうことに對して「ありがとう」や「すばらしい」のかは書けないのですが、決まって書くのが、「いつも、たのしくてありがとう」という言葉です。◆だんだん交流学級の友だちの名前を覚えて、渡す相手が増えました。交流学級の担任や専科の先生にも繰り返しカードを書きます。◆何か嬉しかったことがあったのでしようか。それとも、書くことが楽しいのでしようか。たぶん、両方あるのだと思います。そして、「楽しくてありがとう。」のメッセージはもらった人を笑顔にします。◆正しい「て・に・を・は」や具体的な内容の書き方を指導することもありますが、「たのしくてありがとう。」という、ゆるぎないメッセージこそが素敵だなと思うのです。◆



L レズビアン **G** ゲイ **B** バイセクシュアル **T** トランスジェンダー

の
子どもたちと
教職員が
過ごしやすい
学校をつくろう!!



日時 2月12日(日) 13:30~16:30

会場 まなびCAN (高松市片原町11-1)
087-811-6222

参加費500円
但し PROUD会員
及び
日教組香川組合員は
無料

第1部

【講演】

安心して過ごしたい
～子どもにも教師にもいるLGBT～

[13:50~15:20]

SAF(性的マイノリティと支援者アライを
フラットにつなぐ会)

小阪くみこさん 宮口雅哲さん

講師紹介

小阪くみこ(こさか くみこ)

高校教員 (職歴20年以上)
1997年から2004年まで7年間レズビアンとしてカム
アウトして活動、その後活動休止。2016年からF T
Mである卒業生とともに活動を再開。

宮口雅哲(みやぐち まさあき)

女の子で生まれ2013年にタイで性転換手術を受け、
戸籍上の性別を男性に変更する。会社員。現在31歳。

第2部

【フリートーク】

参加者同士で話そう!

講演の感想
自分の体験
理想的な学校づくり

[15:30~16:20]

すべての
お問い合わせは

TEL 0120-27-5925 (日教組香川教職員組合)

URL <http://www.jtu-k.com/> MAIL jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp

日教組香川加入メニュー

日教組香川には、香川県の公立学校で働く教職員であれば、どなたでも加入することができます。校種・職種は問いません。

メ ニ ュー	月 会 費	各種サービス
組合員	初年度 月1,000円 その後、年齢ごとに 2,000円~5,000円	情報誌等配布 各種研修会案内 全国集会等旅費負担 個別課題への対応
講師 臨時採用 組合員	月1,000円	組合員に準ずる

月1,000円で全国のなかまと会える!